

「見えなかったもの」

余暇活動…そして、見えてきたもの

足羽更生園には、利用者の方が生活される3つのスペース(寮)があります。利用者の方にとって、1日の日課が終わった後の寮での余暇時間の過ごし方は、とても重要な意味を持ちます。今回、その余暇時間のあり方を考え、取り組んできた内容をご紹介します。

【余暇の時間てなに?】

「余暇時間」というと、多くの人にとっては、趣味に充てる時間、好きなことをする時間を連想されるかもしれません。

しかし、知的障がいの利用者の方にとっては、必ずしもそうではないのです。

自由時間は「何をしているのかわからない時間」となり、多くの利用者の方が、各寮にある共同スペースに集まりました。

【活動場所を広げよう】

まず、共同スペース以外に、過ごせる場所として体育館を開放して、自由に参加できる活動メニューを作りました。

ラジオ体操や歩行運動といった身体を動かす簡単な活動メニューを提供することで、共同スペースへの集まりを減らそうとしたのです。

【試行錯誤】

その結果、騒々しい環境が生まれ、利用者の方同士トラブルが頻繁に起きました。これは、時間への対応に困った一例といえます。

このような環境を改善したいという職員の思いから取り組みは始まりました。

しかし、そうした活動メニュー提供の当初は、職員の期待通りにはいきませんでした。自主的に参加される利用者の方がほとんどいなくなりました。

それでも、活動を継続し



貼り絵でバナナを作っています

おもしろアイデアベスト3!!!



音楽とダンス



のびのび時間!



人気のNo.1キックボード

経過を振り返りながら、意見交換を重ねていくと、利用者の方にとって、ラジオ体操は「難しい」「楽しくない」から参加しないのでは?という気づきがありました。そして「楽しい活動」があれば参加してもらえるのではないかと考え遊具を使う時間・音楽の時間など多彩な活動メニューを取り入れていきました。

すると、自主的に参加される利用者の方が増え、活動も定着してきました。そして、活動を楽しんでいる様子が職員にも伝わってきました。

【見えてきたニーズ】

きっかけは「何もすることがない時間」を埋めようという職員の思いからでした。

しかし、利用者の方の立場に立てば、トラブルを起こしたくて起こしているはずがありません。活動を楽

しむ利用者の方の表情はとも穏やかであり、求めてもいるものができる時間だと実感しました。

今まで職員は、施設の中で今の生活が当たり前という思いが、利用者の方の求めてくるものを見えなくしていたのかもしれない。

【アイデアを出し合おう】

こうした反省をもとに、今では、職員が活動メニューのおもしろいアイデアが思いつくとさつそくそれを取り入れ、利用者の方の反応を見ている。そして、さまざまな余暇活動を楽しそうに過ごしている姿、集中している姿を見ると職員には「やった」という満足感や達成感が溢れてきます。

その思いは、次への活力源になっている。

そして、他の寮でおもしろい余暇を見かけると、自分たちの寮に工夫をしながら積極的に導入しています。また、お互いの寮が成功したこと・工夫したことなどを報告し合う場を定期的に設け、振り返りを続けています。



見て、育て、実りを食す
家庭菜園♥(女子寮)

【これからも】

このような余暇時間の活動メニューの充実は、利用者の方の「望み」の1つであったと思います。自分自身の活動に幅ができ、仲間同士、または一人であつても楽しめる時間ができたことで、穏やかな表情が多くなり、その結果、余暇時間のトラブルは目に見えて少なくなりました。

利用者の方にとって、この充実が大きいものなのか小さいものなのかはわかりません。しかし、私たち職員は、これからも利用者の方の「望み」を感じとり、ひとつでも多くその実現に向けて取り組んでいきます。

みんなの広場

「斉藤さんの手紙」

私はこの春、23年勤めた足羽更生園を定年退職することになりました。これまでの思い出は、とても一言では語れません。

いうならば、夫や娘たちと過ごした年月と同じくらい、苦楽をこの職場で共にしてきたのです。同僚たち、利用者の方との思い出を振り返るとつい涙ぐんでしまいます。入社当時お世話をしていた小さな子どもが、いつの間にか成人式を迎え、立派な大人へと成長したこと、上司に怒られたことや時には反発して自分の思いをぶつけたこと…利用者の方との出会いと別れ、喜びや悲しみ、くやしき、感動、いろいろな思いを感じながらこの仕事をしてきました。私は、この仕事が本当に好きでした。そして、多くの仲間を支えられたからこそ、ここまでくることができました。

私は、利用者の方や職員との間には「絆」があると思っています。なんでも言い合えるそんな「絆」をいつまでも大切にしてください。長くこの仕事に就けたことに誇りと感謝の思いいっぱいです。皆様本当にありがとうございました。

足羽更生園

斉藤 紀子

